人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

≪試料・情報の利用目的及び利用方法≫	●研究の名称 脊椎変形手術中の経頭蓋運動誘発電位における麻酔性減衰：プロポフォール単独とレミマゾラム併用の比較
	●研究の対象 2023 年 1 月～2026 年 6 月の期間に、当院で胸椎・腰椎の変形矯正または多椎間固定手術を、運動誘発電位（MEP）モニタリング下の全身麻酔（全静脈麻酔）で受けられた、１８歳以上の方
	●研究の目的 背骨の手術では、手術中に手足の筋肉の反応（運動誘発電位）を記録して、神経のはたらきを見守っています。しかし、麻酔が長くなったり麻酔薬の総量が多くなると、神経に異常がなくてもこの反応が弱まり、「異常かもしれない」という誤った警告（偽陽性）が出ることがあります。 この研究では、麻酔薬であるプロポフォールに加えてレミマゾラムという薬を併用すると、この反応の弱まりや誤った警告を減らせるかどうかを、これまでに手術を受けられた患者さんのカルテ・麻酔記録・モニタリング記録から明らかにすることを目的とします。
	●研究の期間 研究機関の長による実施許可日から２０３１年3月31 日まで
	●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日
	●他の機関に提供する場合には、その方法

	この研究では外部へ試料・情報を提供しません。
≪利用し、又は提供する試料・情報の項目≫	●研究に使用する試料・情報 情報：年齢、性別、身長、体重、診断名、手術内容、麻酔薬（プロポフォール・レミマゾラム等）の種類と投与量、血圧、体温、出血量、手術中の運動誘発電位（MEP）の記録、術後の運動機能　等
≪利用する者の範囲≫	●機関名および責任者名 研究機関：浜松医科大学　青木善孝
≪外国にある者に対する試料・情報の提供≫	この研究では外国にある者へ試料・情報を提供しないため、該当しません。
≪試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称≫	国立大学法人浜松医科大学
≪試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）≫	あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下≪問い合わせ先≫をご確認ください。
≪資料の入手または閲覧≫	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

≪情報の開示≫	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。
≪問い合わせ先≫	〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名：　集中治療部 担当者：　青木善孝 TEL：　053-435-2111 E-mail：　07467460@hama-med.ac.jp